

「やまなし森林・林業振興ビジョン」における数値目標の一部見直しについて

林業振興課

見直しの理由

ビジョンの策定以降、県内の木材需給に大きな変化が生じていることから、ビジョンに掲げる施策の進捗状況等を点検、評価する指標となる数値目標の一部について、見直しを行う。

木材需給の変化

県内での大型合板工場の稼働に伴い、B材等の出材量が増加

- ⇒ B材の出材に伴い、燃料用となるC材の出材も増加
- ⇒ 県外産のB材も合板用として利用
- ⇒ 合板製造工程で発生する端材を、木質バイオマスボイラーの燃料として利用
- ⇒ これまで製材用としていた集成材用の一部の合板用への利用を見込み、製材用を減
- ⇒ これまでチップ用としていたB材の合板用への利用を見込み、チップ用を減

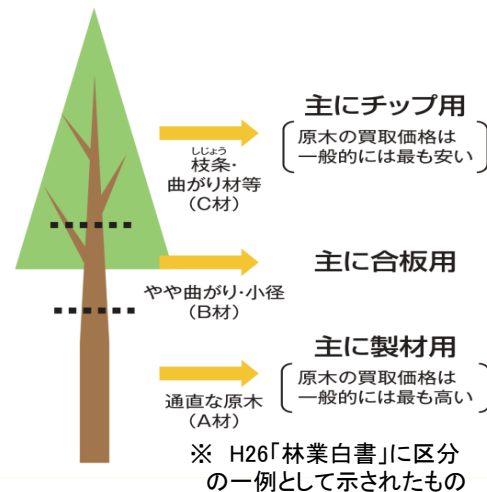
※ 製紙等のチップ用材の利用量は、現在の水準で推移するものと想定し、供給が増える分は、燃料用として利用

※ 本格稼働した大型バイオマス発電所や、現在計画中の発電所において、燃料用としてのC材需要が増加

(参考)

◇原木の形状別の用途等

区分	形状	用途
A材	通直な材	主に製材用
B材	やや曲がり・小径材、短尺材	主に合板用
C材	枝条、曲がり材等	主にチップ用(バイオマス燃料や製紙等に利用)

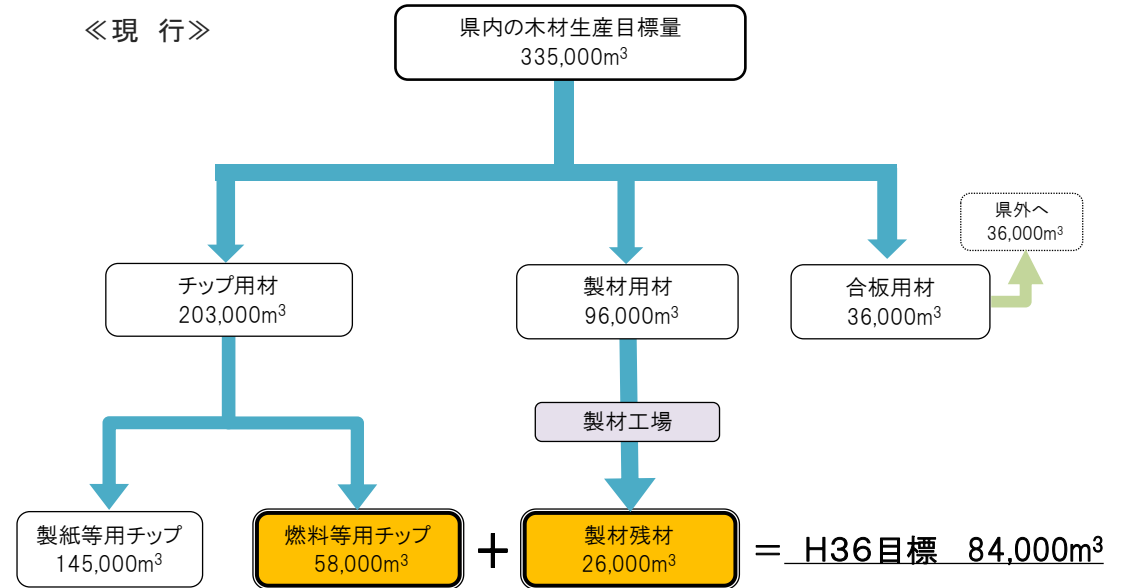


見直しの内容

数値目標	基準値(H26)	現行の数値目標(H36)	変更後の数値目標(H36)
木質バイオマスのエネルギー利用量	18千m ³	84千m ³	122千m ³

(参考)

《現行》



《変更後》

